

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 青木 隆

研究課題		中国清朝ムスリム学者・劉智のコスモロジー（その10）
報告の概要	研究目的 および 研究概要	清朝のイスラム学者・劉智『天方性理』の訳注を作成しながら、その哲学思想の構造、アラビア語・ペルシア語原典との比較検討、イスラームと中国思想の両者を可能にするような劉智思想の基本的な枠組みを解明する。そのため近年は、アラビア語・ペルシア語の研鑽を積む一方で、本邦未紹介の海外のイスラム思想史学の蓄積を学習している。令和4年度は劉智『天方性理』の課題として、乗り越える対象であったと思しい王岱輿『正教真詮』の思想表現の問題に取り組んだ。
	研究の結果	従来の研究で王岱輿『正教真詮』は、マテオ・リッチ『天主実義』を踏襲した箇所が23カ所にのぼると言われている。しかし、王岱輿『正教真詮』の踏襲箇所について、なぜ踏襲がなされたのか、なぜ踏襲しておきながら踏襲したことを明らかにしなかったのか、踏襲することによっていかなる効果が現れているのか、ひいては王岱輿の思想表現におけるマテオ・リッチ『天主実義』踏襲の意義については詳細に研究されていない状況が続いている。令和4年度は両者のテキストを比較し、踏襲箇所の再検討を行った。
	研究の考察・反省	王岱輿『正教真詮』は、漢語でイスラームを表現するため、同じ一神教であるマテオ・リッチ『天主実義』の漢文表現を参考にしたと考えられる。主として以下の2点、イスラームが中国文明に属するものであると印象付けること、そして一神教を表現する漢語表現を借用することに、この2点について具体的にテキスト踏襲の様相を明らかにする途上である。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		なし